

Title: 「一生で一度のワープ」



鈴木 里実
1987年東京生まれ。
女だらけの中で生きてきました。
甘えまくって生きてきました。
半年ワープしてきました。
大人になって帰ってきます。

● 最近のエントリー

- ☑ [＊油断大敵＊](#)
(2008.07.30)
- ☑ [スイッチ](#)
(2008.07.24)
- ☑ [草原で考えてたこと](#)
(2008.07.19)
- ☑ [PANAUTI DREAM -part2-](#)
(2008.07.11)

● アーカイブ

- ☑ [2009年02月](#)
- ☑ [2008年12月](#)
- ☑ [2008年11月](#)
- ☑ [2008年10月](#)
- ☑ [2008年09月](#)
- ☑ [2008年08月](#)
- ☑ [2008年07月](#)
- ☑ [2008年06月](#)
- ☑ [2008年05月](#)
- ☑ [2008年04月](#)
- ☑ [2008年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

一生で一度のワープ > 2008年07月 アーカイブ

08.07.30

＊油断大敵＊

[Tweet](#)[Check](#)

北京組が今朝出発しました。
オリンピックへの盛り上がり...すごいです。
兄ちゃん、パパ、おっくん、あやこ。
どうか気をつけて...。
私は明日、上海へ行きます。
出発する前は海外で一人で飛行機に乗って移動して、
さらにその先でも自分一人しかないなんて
ただただとにかく不安だったけど
変わるものですね。
上海へのフライトでもう飛行機移動は！4回目です。
もう全然大丈夫です！
とか言って、旅慣れぶってると何かありそうなので
気を引き締めて、最後の取材頑張ります。

カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.07.30 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

一生で一度のワープ > 2008年07月 アーカイブ

08.07.24

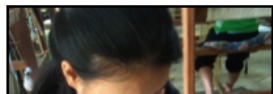
スイッチ

[Tweet](#)[Check](#)

ラオス。
一度は行ってみたいと思っていた国の一つ。
ホントに良かったです。FW 10ヶ国目です。
市内からトゥクトゥクで約20分。
ホアイホン職業訓練センターで撮影開始です。



着いてから即ガイドさんに訳してもらったラオ語の取材交渉文と質問内容
今日はそれを持って撮影交渉。
その後、施設見学を兼ねた撮影とそこで働く彼女ら数人にインタビューをして
一人に決めて帰ってきました。





↑今日一日サポートしてくれたラオス人女性とはなんと、アジア学院で会った方でした。あの時あそこで会えたのは何かの縁です。ラオ語で絡んだ富田兄さんのことを覚えていました。出会っていい！と本気で思った1日でした。

カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.07.24 | [パーマリンク](#) | [コメント \(5\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[一生で一度のワープ](#) > 2008年07月 アーカイブ

08.07.19

草原で考えてたこと

[Tweet](#)

[Check](#)



フフホト市内から車で約3時間。見渡す限り大草原です。



でもフフホトに着いてから体調が最悪で私はわざわざ草原に寝に行ったようなものでした。でも最終日はなんとか動けるようになったので、とりあえず恒例の草原ジャンプだけ！旅のカウントダウンが始まったら

気が緩み始めたのか
緊張の糸が切れたのか
体調面に限らず「崩れる」ことが増えました
この旅がもし3〜4ヶ月だったら
ギリギリ乗り切れたかもしれないことも
半年ではさすがに続かない
自分でもビックリするくらい体調を崩したり
お金のやりくりが大変になったり
撮影のモチベーションが続かなくなったり
日本に帰りたくなったり
簡単な毎日ではないから
「もう嫌！！」ってなる時が必ずくる
でもここに逃げ道はなくて
毎日何かしら目の前に立ちはだかる壁を
考えながらも体ごとぶつかっていくしかなくて

私はこのたった4ヶ月の間に、今までで一番弱い自分にも強い自分にも出会えました
あと60日でFWが終わります
この旅が自分のすべてじゃなかったとしても
あの半年は頑張ったって
何年先でも思える半年にしたい
だから残りの60日はとにかくやるしかないんです
どうあがいても終わるなら悔いを残さないように
全力疾走-----で！！

カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.07.19 | [バーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[一生で一度のワープ](#) > 2008年07月 アーカイブ

08.07.11

■ PANAUTI DREAM -part2-

[Tweet](#)

[Check](#)





1 日目は、会場探し+交渉
 2 日目は、大掃除
 3 日目は、設営
 4 日目は、宣伝（看板作成／ビラ／ポスター貼り）
 5 日目は、写真展初日
 6 日目は、写真展最終日
 7 日目は、別の学校の先生に頼まれて写真展延長+学校訪問
 8 日目は、集合写真撮影+解体（展示した写真を希望者やお世話になった方々に贈呈）
 9 日目は、バナウティを満喫
 1 0 日目...
 朝 1 0 時～午後 1 8 時まで仕事。
 毎日顔を合わせる宿のスタッフとも日に日に親しくなっていった。
 英語からネパール語に訳してもらったり、ビラ作成も手を貸してくれた。
 朝食は用意して待っていてくれたし、写真展も見に来てくれた。
 滞在した 1 0 日間は本当によくしてもらった。

1 0 日目は、「別れの儀式」





最後の最後まで「Blue to Green」で。

カテゴリ：

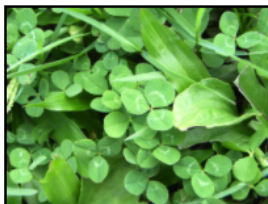
post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.07.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[一生で一度のワープ](#) > 2008年07月 アーカイブ

PANAUTI DREAM -part1-

[Tweet](#)

[Check](#)



実際に訪れて「成功」を確信した。
グリーンの町...歩けば歩くほど好きになった。
未だかつて、これほどまでに心を奪われた町はありませんでした。
ここで写真展ができることを幸せに思いました。





カテゴリ：

post by 鈴木 里実 | 日時: 2008.07.11 | [バーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)